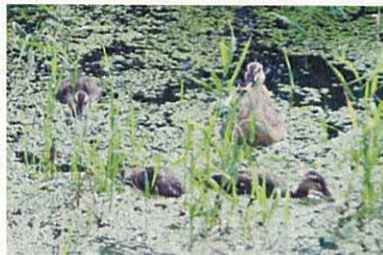


フレントリ館長便り (2007年8月)

カモ類のほとんどは冬鳥ですが、カルガモは周年ウェットランドで姿を見ることができます。母親のそばでちょこまか泳ぐ子ガモは可愛いもので、撮影を試みてきたのですが、なかなかうまくいきません。やっと写せたときにはすっかり大きくなっていて、



親と見分けがつかないほどになっていました。鳥の成長は速いものです。

ウェットランドを造成する前、暫定県道沿いに実験池を掘っていました。その流入水路を調べに、藪をかき分けて行ったら、カルガモ親子に出くわしました。当然、水路の奥へと逃げていきましたが、数秒後、母親が羽毛を逆立たせて私に突進してきたのには驚かされました。母親の強さに敬服し、そっとその場を立ち去りました。